
メ〜テレ 横井正彦社長定例記者会見

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は3月24日に定例社長会見を開きました



メ〜テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は、以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2014年6月に社長に就任し、定例会見としては今回が3度目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

メ〜テレは昨年10月、「もっと!地元応援団」をスローガンに55周年期間をスタートさせ、いよいよ4月1日、55回目の開局記念日を迎えます。引き続き、番組・イベントなど様々な取り組みを通じて「地元応援」を具体化していきますが、そのメ〜テレの活動をサポートしてくださる、力強い応援団が現れました。

メ〜テレ開局55周年のテーマソングを、愛知県出身の人気ユニット「スキマスイッチ」さんに制作していただきました。「地元を思う気持ちを曲にして、メ〜テレと一緒に東海3県の人たちにエールを送っていただきたい」という私たちの願いに快く応えていただき、お二人が曲を書き下ろしてくださいました。一度聞いたら忘れられないメロディで、随所に地元の風景も登場します。

2017年3月24日

そして5月には、モノづくりを生業にする人たちが集まって技術とアイデアを競い合い、短期間で一つのサービス・製品を作り上げる「ハッカソン」のイベントである「メイキン クエスト」を開催し、6月に番組化します。これは社内で企画公募を行い、通過した企画で、実現にあたって社内横断のプロジェクトチームを立ち上げ、取り組んでいます。

また、メ〜テレが力を入れているドラマの分野では、2月に放送した「名古屋行き最終列車」の第5弾に続き、55周年記念ドラマとして4月から「岐阜にイジュー!」を放送します。岐阜県の白川町を舞台に、「地元応援ドラマ」とするべく、いま制作の真っ最中です。

情報番組では、朝の「ドデスカ!」で新たな55周年記念コーナー「マルトク生活レシピ・女子→ハピ(ジョシハピ)」が始まります。「この地方の女性の応援団」として、朝から暮らしに役立つお得な情報をお届けします。

イベントの分野では、55周年期間が始まった昨年10月から、タレント木梨憲武さんのアートイベント「フェアリーズ@名古屋」など、10件以上の周年事業を実施してきました。

そして4月には、「春巡業・大相撲小牧場所」を開催し、少し先になりますが、9月30日から松坂屋美術館にて「メ〜テレ開局55周年記念 アートたけし展」を開催します。

いまご紹介した以外にも、55周年事業としてさまざまな番組・イベント・舞台公演などの企画が進行中です。引き続き55周年を盛り上げ、地元を応援し、ますます元気にするよう取り組んでまいります。

続いて、視聴率についてご報告させていただきます。

2016年度の視聴率は、正式には、4月2日を持って確定しますが、現状、23日まで、「全日」が3位、「ゴールデン」が4位、「プライム」が2位、「プライム2」が1位で推移しています。このまま確定すれば、「プライム2」は14年連続のトップとなります。

特に、東海エリアで唯一、ローカル局制作の朝の情報番組である「ドデスカ!」は、視聴者層をより意識した番組作りを心がけ、2016年度の平均視聴率が1部、2部ともに過去最高を記録する見込みです。朝帯の好調は、それ以降の番組の視聴率アップにもつながり、文字通りメ〜テレの「けん引役」となっています。

続きまして、今期の決算見込みについてご説明させていただきます。

今期は、3期ぶりの「増収増益」と見込んでおります。売上では、スポット・タイム共にセールスが好調で、「放送事業」が増収。また「その他事業」も、新規の催事などにより増収となる見込みです。一方、費用面では、各現場で効率化を図るなど、増加を最小限に抑えております。業績の詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月上旬に経済記者クラブで説明させていただきます予定です。

メ〜テレは、昨年4月に第4次中期経営計画をスタートさせました。東京オリンピックが開催される2020年度を一つの節目と考え、5ヵ年計画とし、まもなく一年が経ちます。2016年度は、

2017年3月24日

売上・利益共に目標をクリアする見込みで、いいスタートを切ることができたと考えています。

4次中計のキーワードは、「チャレンジ」です。様々な取り組みに挑戦し、この地域の視聴者に「なくてはならないチャンネル」「もっとも頼りになるテレビ」と思っただけの局をめざします。

続いて、次世代放送への取り組みです。メ〜テレでは「次世代放送の先進局」として、他局に先駆けて研究に取り組んでおります。今年度は、総務省の平成28年度予算事業の一環として、8Kコンテンツの制作に取り組みました。また、ドラマ「名古屋行き最終列車」の4K版を制作し、「ひかりTV 4K」を通じて全国で放送されました。他にも、地上波の番組と平行してハイブリッドキャストを利用し、複数の4K映像を配信する実験など、様々な取り組みを行ってきました。

地上波での4K放送の先行きは今も不透明ですが、4Kに限らず、新たな技術や規格を研究し、放送サービスと融合させていくことで、視聴者に新たなテレビの価値を提供し、社会や文化の発展に貢献していきたいと考えております。

さて、ここからメ〜テレのその他の新しい取り組みについて、皆様にお知らせしたい点を何点か申し上げます。

まず、番組編成についてですが、現在好調な朝帯の勢いを強化しつつ、さらに夕方のニュース情報番組「UP!」をリニューアルします。放送時間を夕方4時48分からとし、5時台でも東海地方の情報をたっぷりご紹介します。55周年の『もっと!地元応援団』のスローガンのもと、地域の気になるニュースや、知りたい情報を生放送でしっかりお伝えします。

また、メ〜テレが3年前より社を挙げて取り組んでいる、他業種との「コラボ」の一貫として、株式会社宣伝会議と連携し、クリエイターの発想を映像で表現してもらう、動画の公募コンテスト「モノがたりアワード」をスタートさせます。受賞した作品は、メ〜テレの特別番組として紹介する予定です。

最後に、メ〜テレではこの4月、コーポレートベンチャーキャピタル機能を有する子会社「名古屋テレビ・ベンチャーズ」を新たに設立します。運用総額は12億円です。ベンチャー企業のアイデア、リソースを積極的に活用し、第4次中計の柱である「新たな収入源となる新規事業の確立」に向け、取り組んでまいります。

今後とも引き続き、メ〜テレへのご指導をよろしくお願いいたします。

以上